市報 ぎょうだ
No.791
平成24年5月1日発行

行田 歴史系譜 218

忍城物語 2

北条氏と上杉謙信の争い

戦国時代の争乱の中で、成田氏の動向に大きな影響を与えた戦国大名がいました。小田原の北条氏と越後の上杉謙信です。北条氏康と成田長泰は何度も血判の証文を取り交わす間柄だったようですが、永禄3年（1560）に謙信が関東に侵攻すると長泰は北条氏を離れ、謙信に味方して相模国まで兵を進めました。

しかし、謙信が越後国に戻ると長泰は再び北条方となりました。この離反は謙信の大きな反感を買ったようです。永禄5年（1562）11月、北条軍と武田軍に攻められていた松山城（東松山市）を救うため、謙信は越後を出兵しますが、救援は間に合わず、翌年（1563）2月に松山城は開城しました。目標を失った謙信は、軍勢を成田長泰の弟小田朝興が城主を務める騎西城に向けました。その理由を「（朝興は）自分に対して不平不満はないのだろうが、兄が裏切ったのだから同罪だ」と述べています。結局、騎西城は落城し、成田氏は再び上杉方となり、謙信は成田氏に対して出兵を命じるようになります。しかし、謙信の勢力に衰えが見え始めると、永禄9年（1566）の半ばには、再び北条方になりました。このころには成田氏の当主も長泰から息子の氏長に交替しています。

ところが、これまで同盟関係にあった北条氏と武田信玄が対立したため、北条氏は上杉謙信と和睦し、永禄12年（1569）に同盟を結びました。協定の中で、北条氏は北武蔵の有力な領主の上杉方への帰属を認めましたが、謙信に従う領主は多くはなく、成田氏長も謙信に反発していたようです。このような行動は、北条・上杉双方からあまり信用されなかったようで、北条氏政・氏直親子は謙信にあてた手紙の中で「武蔵・上野の武将の中には武田信玄に内通するものがいる。特に成田氏と上田氏（松山城主）からは人質を取れ」と書いています。

この同盟は北条氏康の死去により解消され、北条方となった成田氏長は再び上杉軍と戦うようになります。そして、天正2年（1574）に上杉方の拠点であった関宿城（千葉県野田市）と羽生城（羽生市）が落城すると、謙信は武蔵国から完全に撤退しました。これにより、成田氏長は羽生領を接収し、騎西領や菖蒲領を勢力下に置く北武蔵最大の領主へと大きく成長していきました。

（郷土博物館　鈴木紀三雄）

上杉軍が忍城攻めの拠点とした皿尾城の跡

こぜにちゃんが行く！ with フラベぇ

フライ

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。

とうとうこの日がやってきました！今月はゼリーフライと同様、行田を代表するB級ご当地グルメ「フライ」を、僕、フラベぇが紹介するよ。

フライは「お好み焼き」みたいなもので、水で柔らかく溶いた小麦粉を鉄板の上に薄く広げ、ネギ、肉、卵などの具をのせて、鍋ぶたでぎゅっと押し付けて焼いていくんだ。仕上げにソースやしょうゆだれを塗って食べると、もう最高。「行田に来たら、まずはフライ」を合言葉に、フライの魅力をみんなでPRしていきましょう。また来月から、こぜにちゃんにバトンタッチするね！

撮影協力：かねつき堂

今月の表紙

4月1日に、2年ぶりに開催された鉄剣マラソン大会。

5キロメートル・10キロメートル・ハーフの部にエントリーした選手らは、さきたま古墳公園内を最後の力を振り絞って、駆け抜けていきました（関連記事22ページ）。

■市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
■市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
■市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。

VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい植物油インキ
市報ぎょうだは再生紙を使用しています

■編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361－8601　行田市本丸2番5号
TEL 556－1111　FAX 550－2116